

第 10 期 決 算 公 告

平成19年8月21日

東京都目黒区鷹番一丁目1番10号

株式会社インテリックス空間設計

代表取締役社長 山本 卓也

貸借対照表

(平成19年5月31日現在)

(単位: 千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流 動 資 産 】	1,160,248	【 流 動 負 債 】	898,903
現 金 及 び 預 金	118,610	工 事 未 払 金	356,165
完 成 工 事 未 収 入 金	890,774	短 期 借 入 金	300,000
未 成 工 事 支 出 金	115,299	一 年 内 返 済 予 定 長 期 借 入 金	77,400
材 料 貯 蔵 品	2,215	未 払 費 用	76,533
前 払 費 用	3,358	未 払 法 人 税 等	67,589
繰 延 税 金 資 産	29,706	未 払 消 費 税 等	13,614
そ の 他	283	預 り 金	1,757
【 固 定 資 産 】	528,973	そ の 他	5,841
(有 形 固 定 資 産)	403,528	【 固 定 負 債 】	422,858
建 物 ・ 構 築 物	146,388	長 期 借 入 金	418,150
機 械 ・ 運 搬 具	261	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	4,708
工 具 器 具 ・ 備 品	6,559	負 債 合 計	1,321,761
土 地	250,319	純 資 産 の 部	
(無 形 固 定 資 産)	1,820	【 株 主 資 本 】	367,460
ソ フ ト ウ ェ ア	1,384	資 本 金	20,000
電 話 加 入 権	436	資 本 剰 余 金	0
(投 資 そ の 他 の 資 産)	123,624	資 本 準 備 金	0
出 資 金	11,000	利 益 剰 余 金	347,460
差 入 保 証 金 敷 金	7,022	そ の 他 利 益 剰 余 金	347,460
投 資 有 価 証 券	103,686	繰 越 利 益 剰 余 金	347,460
長 期 繰 延 税 金 資 産	1,915	純 資 産 合 計	367,460
資 産 合 計	1,689,222	負 債 純 資 産 合 計	1,689,222

(当 期 純 利 益 金 額

108,763)

注記表

【重要な会計方針に係る事項】

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券

その他有価証券・・・(時価のあるもの)・・・決算日の市場価格等に基づく時価法
(評価差額は全部純資産直入法により処理し、
売却原価は移動平均法による原価法
により算定)を採用しております。

(時価のないもの)・・・移動平均法による原価法を採用しております。

(2) たな卸資産

- ① 未成工事支出金・・・・・・・・・・・・・・・・・・個別法による原価法を採用しております。
- ② 材料貯蔵品・・・・・・・・・・・・・・・・・・移動平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産・・・・・・・・・・・・・・・・・・定率法を採用しております。ただし、平成10年4月
1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)に
ついては、定額法を採用しております。

(2) 無形固定資産・・・・・・・・・・・・・・・・・・自社利用のソフトウェアについては、社内における
利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用して
おります。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金・・・・・・・・・・・・・・・・・・債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権
については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等、
特定の債権については個別に回収可能性を検討し、
回収不能見込額を計上することとしております。
なお、当期については貸倒実績率がゼロのため、
貸倒引当金は計上しておりません。

(2) 役員退職慰労引当金・・・・・・・・・・・・・・・・・・役員退職慰労金の支出に備えるため内規に基づ
く期末要支給額を計上しております。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) リース取引の処理方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・リース物件の所有権が借主に移転すると認められる
もの以外のファイナンス・リース取引については、通
常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理に
よっております。

(2) 消費税等の会計処理方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式に
よっております。